

## 第 38 回環境システムシンポジウム

((一社)日本環境アセスメント協会 平成 25 年度公開セミナー)

### 環境影響評価における配慮書手続の効果的運用に向けて

#### 1. 趣旨

改正された環境影響評価法によって、我が国において計画段階における環境配慮を検討する配慮書手続が国レベルの制度に導入されました。この配慮書手続は、計画に自由度のある段階で代替案の比較によって環境保全にとって最善の事業計画を選択することを目指しています。配慮書手続導入のねらいが最大限に環境保全に貢献するためには運用段階においてクリアすべき課題があると考えられます。例えば、技術的課題として適正な比較検討案の提示等が挙げられます。これらの課題と、課題をクリアするための効果的な運用に向けて講演と議論で認識を深めたいと考えます。

#### 記

- 主催 (公社)土木学会 (環境システム委員会)
- 共催 (一社)日本環境アセスメント協会
- 日時 平成 26 年 1 月 27 日 (月) 13:30~16:30
- 場所 土木学会 講堂 <JR・地下鉄四谷駅から 徒歩 3 分>
- 参加費 無料
- 定員 100 名

(土木学会 HP 上の募集定員とは異なります。共催団体と同時並行で募集しているためです。)

- プログラム (講演題目, 発表者は予定です。都合により変更する場合がありますがご了承ください)

13:30~13:35 開会挨拶 (土木学会環境システム委員会)

13:35~14:05 計画段階配慮書手続の意義と期待

上杉 哲郎 (環境省総合環境政策局環境影響評価課・課長)

14:05~14:35 配慮書手続で変わることを、変えなければいけないこと

片谷 教孝 (桜美林大学リベラルアーツ学群基礎数理専攻・教授/計画段階配慮技術手法に関する検討会・委員)

14:35~15:05 道路事業における配慮書段階の技術的手法について

角湯 克典 (国土交通省国土技術政策総合研究所道路研究部道路環境研究室・室長)

15:15~15:45 地方自治体における計画段階配慮書手続の事例及び課題

岩村 響 (埼玉県環境部環境政策課企画・環境影響評価担当・主査)

15:50~16:25 パネルディスカッション

講演者の皆様と日本アセスメント協会所属企業の技術者の方に加わっていただき、参加者との意

見交換や質疑を行います。

16:25~16:30 閉会挨拶 ((社)日本環境アセスメント協会)

●申込方法

土木学会ホームページ (<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>) より専用フォームにてお申込下さい。申込みが完了すると確認メールが届きます。そのメールが参加券になりますので、印刷して当日ご持参下さい。

●申込締切

1月20日(月)17:00

●問い合わせ(内容等): 和歌山工業高等専門学校環境都市工学科 鶴巻峰夫

E-mail: [tsurumaki@wakayama-nct.ac.jp](mailto:tsurumaki@wakayama-nct.ac.jp)

●問い合わせ(手続き等): 土木学会事務局研究事業課 (当行事担当: 佐藤雅泰)

TEL: 03-3355-3559 【課直通】

住 所 〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目(外濠公園内)

●CPD: このセミナーは建設系CPD協議会の認定プログラムです。(手続き中)

土木学会 案内図

交通アクセス

- JR「四ツ谷」駅の四ツ谷口より徒歩3分
- 地下鉄南北線「四ツ谷」駅の3番出口より徒歩3分
- 地下鉄丸の内線「四ツ谷」駅より徒歩5分

